

事業実績（視察）報告

1. 視察の概要

- (1) 目的 第17回全国市議会議長会
研究フォーラムin長野参加
- (2) 日時 令和4年10月19日(水)・20日(木)
- (3) 場所 ホクト文化ホール
- (4) 参加者 中村 眞一



2. 主な内容



第1日目(10/19)

- 主催者挨拶 全国市議会議長会会長
清水富雄横浜市議会議長
- 開催市挨拶 荻原健司長野市長

- 第1部 基調講 「コロナ後の地域経済」
富山 和彦 (株)経営共創基盤グループ会長
- 第2部 パネルディスカッション 「地方議会のデジタル化の意義と課題」
コーディネーター 人羅 格 毎日新聞社論説委員
パネリスト 岩崎 尚子 早稲田大学電子政府・自治体研究所教授
" 牧原 出 東京大学先端科学技術研究センター教授
" 湯淺 墾道 明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科教授
" 寺沢さゆり 長野市議会議長

時期開催市挨拶 第18回全国市議会議長会研究フォーラム開催地
令和5年10月25日(水)・26日(木)北九州市にて開催

第2日目(10/20)

- 第3部 課題討議 「地方議会のデジタル化の取組報告」
コーディネーター 谷口 尚子 慶應義塾大学大学院システムデザイン
マネジメント研究科教授
事例報告者 金澤克仁 取手市議会議長
板津博之 可児市議会議長
林 晴信 西脇市議会議長

3. 所見・西尾市政への反映に向けた課題

国はデジタル技術を活用して地方を活性化し、持続可能な経済社会を目指す「デジタル田園都市国家構想」を打ち出し、また、総理大臣の諮問機関である第33次地方制度調査会においても、社会全体におけるデジタル・トランスフォーメーションの進展及び新型コロナウイルス感染症対応で直面した課題等を踏まえた地方制度のあり方について、調査審議が進められています。このような中、地方議会のデジタル化も着実に進んでおり、各市議会では、資料の電子化・ペーパーレス化など業務の効率化に取り組むとともに、議会活動そのものをオンラインで実施する動きが広がっています。

今後は、経済社会の急速な構造変化を背景に、多様化する民意の集約と市政への反映が期待されており、デジタル技術の活用により議会と住民との間で新たなコミュニケーションの可能性が広がります。

したがって、デジタル化を議会も率先して進めていかなければならない。

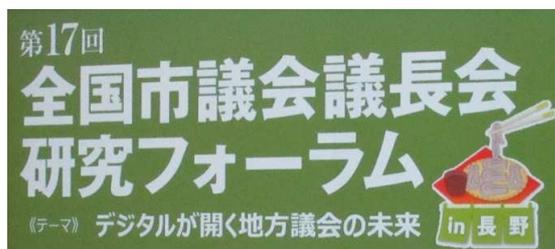
そのために、まずは何のためのデジタル化か、さらには何をどうデジタル化していくのか、また、デジタル化していく上での課題などが論点として挙げられました。

その中で、このデジタル化によって議会と市民とが交流する場や非常時や災害時など緊急時に集まらなくても議会が開催できる事、さらには市民に範を示すべき議会がデジタル化で遅れをとってはならない、などの意見が印象的でした。

今後、行政はもちろん、議会においてもデジタル化を進めるのは当然のことであり、議員それぞれがデジタル化に対応していく力をつけていく中で、やれることから始めないといけないと思います。

もちろん様々な課題はありますが、議員自身が苦手だからとか、わからないとかでデジタル化を止めるようなことがあってはならず、今後は、デジタルを積極的に活用し、見える化で表現し、デジタル化で人手不足の時代を乗り越えるためパネル討論などで、市民対話を充実させるためにもデジタル化を加速させるべきだといった意見が印象的で、デジタルが開く地方議会の未来をテーマに基調講演や先進自治体の議長や学識経験者によるパネルディスカッションなど今後の取り組みの参考になる内容でした。35040

当市においても、タブレットによるペーパーレス化を実施して、デジタル化に向かって一步を歩みだしましたが、まだ本格始動がなされておらず、早期にデジタル化の本格稼働に進めることが必要と思いました。



収支報告

項目	支出金額	備考
調査研究費	35,040 円	旅費 35,040 円 手土産代 円
資料作成費	円	
資料購入費	円	
事務費	円	
計	35,040 円	